

令和3年度決算の概要

1. 総括

地方財政を取り巻く環境は、急速な少子高齢化を背景とした生産年齢人口の減少と社会保障費が増加していく状況において、公共施設等の老朽化対策や頻発・激甚化する自然災害への備え、さらには地域社会のデジタル化の推進など、様々な課題に対する取組が必要であり、依然として厳しい状況にある。

このような状況の中、本市においては、新型コロナウイルス感染症対策や新しい生活様式への対応を図りながら、「里沼の息づく 次世代へ安心をつなぐ 暮らしやすいまち 館林」を将来都市像とする第6次総合計画及び第2期まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・総合戦略の初年度として、計画に掲げた様々な事業を実施した。

この結果、歳出決算額は一般会計31,154,789千円、国民健康保険特別会計7,613,318千円、介護保険特別会計6,578,599千円、後期高齢者医療特別会計960,984千円となった。

なお、本年度における施策の主要項目を列挙すると、次のとおりである。

(1) 主な新規事業

ア まちひとしごと創生推進事業

本市の人口減少を抑制し、定住人口の増加及びまちなかの活性化を図るため、移住促進まちなか新築住宅取得支援金を創設した。

イ 福祉医療費助成事業

子育て支援を推進するため、高校生世代の入院医療費に対する助成制度を創設した。

ウ 観光事業

館林駅前観光案内所を館林駅東口から館林東西駅前広場連絡通路内に移設した。

エ 小学校施設整備事業

第五小学校屋内運動場大規模改修工事及び第七小学校トイレ改修工事を実施した。

オ 中学校施設整備事業

第三中学校普通教室棟外壁改修工事及び全校の特別教室空調設備設置工事を実施した。

カ 文化会館施設整備事業

会館棟の空調設備改修工事及び照明のＬＥＤ化改修工事を実施した。

キ 給食センター運営

子育て世帯における保護者の経済的負担を軽減し、安心して子育てできる環境の充実と少子化対策の推進を図るため、第３子以降学校給食費助成金を創設した。

(２) 主な継続事業

ア 日本遺産推進事業

館林市「日本遺産」推進協議会が実施する普及啓発事業等に対する支援を行った。

イ 金券発行事業

市民への各種補助金等を市内の店舗で使用できる金券で交付し、地域経済の活性化を図った。

ウ 産業団地造成事業

産業団地の造成を進めるため、概略設計や調査を実施した。

エ 幹線排水路整備事業

準用河川宮田川改修事業は、平成１６年度から令和６年度までの２１か年継続事業として整備を進めているが、本年度は護岸築造工事５６．４ｍを実施した。

オ 中央通り線道路改良事業

平成２８年度から令和１１年度までの１４か年継続事業として群馬県が整備を進めており、本年度は用地４９２．３７㎡の取得と２０件の補償を実施した。

カ 土地区画整理事業

・西部第一南地区

昭和６１年度から令和１０年度までの４３か年継続事業として整備を進めているが、本年度は西部一号線築造工事１２２．５ｍ、西部二号線歩道築造工事２１２．５ｍ等を実施した。

・西部第一中地区

平成元年度から令和９年度までの３９か年継続事業として整備を進めているが、本年度は区画道路改良工事９６．１ｍ等を実施した。

- ・西部第二地区

平成11年度から令和14年度までの34か年継続事業として整備を進めているが、本年度は区画道路改良工事556.7m、西部二号線側溝布設工事107.1m、10戸22棟の建物移転等を実施した。